

# 価格高騰等支援策 ガイドブック

北海道  
2023. 7. 14時点版

ガイドブックの最新版はこちら



<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/120239.html>



# 目次

## 第1章 事業者支援

事業	ページ
<b>1. 事業継続支援</b>	
(1) 中小企業総合振興資金	4~8
(2) 専門家派遣のご案内（中小・小規模企業経営安定化対策専門家派遣事業）	9
(3) 特別高圧電力利用事業者緊急支援金	10
(4) LPガス利用者緊急支援事業	11
(5) 水産加工関連事業者向け伴走型集中支援事業	12
(6) 人材確保緊急支援事業	13
(7) 省エネルギー促進総合支援事業	14
(8) 宿泊業環境整備緊急対策事業	15
<b>2. 社会経済情勢の変化に対応した新たな挑戦への支援</b>	
(1) 中小・小規模企業新事業展開・販売促進支援事業費補助金	16
(2) 北海道どさんこプラザ マーケティング支援事業	17
(3) 中国の新たな市場をターゲットとした道産品販路拡大事業	18
(4) 米国市場をターゲットにした道産食品輸出促進事業	19
<b>3. その他</b>	
(1) ものづくり産業におけるグリーン・デジタル推進事業	20
(2) 賃上げ促進税制	21

## 第2章 生活者支援

事業	ページ
(1) 北海道 お米・牛乳 子育て応援事業（物価高騰等対策特別支援事業）	23
(2) 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金等	24
(3) 北海道低所得世帯臨時特別給付金支給事業	25

## 第3章 相談窓口

事業	ページ
(1) 経営・金融、雇用関連など各種相談窓口	27
(2) 働き方改革関連特別相談窓口	28

# 第1章 事業者支援

# 中小企業総合振興資金（1／5）

（新型コロナウイルス・コストアップに対応する中小企業者向け融資）

新型コロナウイルス感染症や原材料などの価格高騰により経営に影響を受けている中小企業者の皆様の経営安定を図るため、次の融資制度をご用意しました。

- 経営環境変化対応貸付【認定企業】（従来型）
- 経営環境変化対応貸付【認定企業】（伴走支援型）
- 企業体質強化貸付（資本金ローン協調）
- コロナ克服サポート貸付
- 経営環境変化対応貸付
- 経営環境変化対応貸付【原料等高騰】

## 1. 経営環境変化対応貸付【認定企業】（従来型）

制 度 名	中小企業総合振興資金 経済環境変化対応資金 経営環境変化対応貸付【認定企業】（従来型）														
融 資 対 象 者	(1) 中小企業信用保険法第2条第5項第4号の規定に基づく「特定中小企業者」であることの認定を受けた中小企業者等  (2) 中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づく「特定中小企業者」であることの認定を受けた中小企業者等														
資 金 使 途	事業資金（道制度融資の借換に要する資金を含む）														
融 資 金 額	2億円以内														
融 資 期 間	10年以内（うち据置3年以内）														
融 資 利 率	《固定金利》 5年以内 年1.0% 10年以内 年1.2%  《変動金利》 年1.0% (融資期間が3年を超えるものに限る)														
担保及び償還方法	取扱金融機関の定めるところによります														
信 用 保 証	すべて信用保証協会の保証付きとします														
保 証 料 率	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">経営安定保証適用の場合</th> </tr> <tr> <th>セーフティネット4号</th> <th>セーフティーネット5号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通保険適用の場合</td> <td>年0.70%</td> <td>年0.60%</td> </tr> <tr> <td>無担保保険適用の場合</td> <td>年0.68%</td> <td>年0.58%</td> </tr> <tr> <td>特別小口保険適用の場合</td> <td>年0.48%</td> <td>年0.41%</td> </tr> </tbody> </table> <p>（信用保証協会の定める要件に該当する場合は、0.1%割引）</p>	区分	経営安定保証適用の場合		セーフティネット4号	セーフティーネット5号	普通保険適用の場合	年0.70%	年0.60%	無担保保険適用の場合	年0.68%	年0.58%	特別小口保険適用の場合	年0.48%	年0.41%
区分	経営安定保証適用の場合														
	セーフティネット4号	セーフティーネット5号													
普通保険適用の場合	年0.70%	年0.60%													
無担保保険適用の場合	年0.68%	年0.58%													
特別小口保険適用の場合	年0.48%	年0.41%													

# 中小企業総合振興資金（2/5）

## （新型コロナウイルス・コストアップに対応する中小企業者向け融資）

### 2. 経営環境変化対応貸付【認定企業】（伴走支援型）

制 度 名	中小企業総合振興資金 経済環境変化対応資金 経営環境変化対応貸付【認定企業】（伴走支援型）
融 資 対 象 者	次のいずれかの認定を受け、かつ経営行動に係る計画を策定したものの。  (1) セーフティーネット保証4号の認定を受けた (2) セーフティーネット保証5号の認定を受けた (3) 最近1か月間の売上高が前年同月の売上高と比較して5%以上減少 (4) 最近1か月間の売上高総利益率が前年同月又は直近決算の売上高総利益率と比較して5%以上減少 (5) 直近決算の売上高総利益率が直近決算前期の売上高総利益率と比較して5%以上減少 (6) 最近1か月間の売上高営業利益率が前年同月又は直近決算の売上高営業利益率と比較して5%以上減少 (7) 直近決算の売上高営業利益率が直近決算前期の売上高営業利益率と比較して5%以上減少
資 金 使 途	事業資金（道制度融資の借換に要する資金を含む）
融 資 金 額	1億円以内（従来型（2億円）の内数）
融 資 期 間	10年以内（うち据置5年以内）
融 資 利 率	《固定金利》 5年以内 年1.0% 10年以内 年1.2% 《変動金利》 年1.0% (融資期間が3年を超えるものに限る)
担保及び償還方法	取扱金融機関の定めるところによります
信 用 保 証	すべて信用保証協会の保証付きとします（伴走支援型特別保証制度対応）
保 証 料 率	0.2%（通常保証料率0.85%）※融資対象(1)(2)の場合 0.2%～1.15%（同0.45%～1.90%）※融資対象(3)及び(7)の場合 ※差額は国が補助
取 扱 期 間	令和3年5月10日から令和6年3月31日まで
備 考	中小企業者が金融機関との対話を通じて経営行動計画を策定し、金融機関が中小企業者に伴走的な支援を行います。  保証料率は、国が一部を補助するため、中小企業者の負担は、一律0.2%もしくは0.2%～1.15%となります。

# 中小企業総合振興資金（3/5）

## （新型コロナウイルス・コストアップに対応する中小企業者向け融資）

### 3. 企業体質強化貸付（資本性ローン協調）

中小企業者等へ円滑な資金供給が図られるよう、政府系金融機関との協調融資を実施しています。

**【融資対象】** 株式会社日本政策金融公庫における新型コロナウイルス感染症対策挑戦支援資本強化貸付（新型コロナ対策資本性劣後ローン）の利用に際し、民間金融機関からの協調支援を受けようとする中小企業者等

**【融資金額】** 4億円以内


**【融資期間】** 1年超15年以内（うち据置5年以内）

**【融資利率】** 金融機関所定の利率

**【信用保証】** すべて保証協会の保証（経営改善サポート保証）付きとします  
（本貸付による融資総額のうち保証付き融資金額50%以内）

**【保証料率】**

- 経営者保証免除対応適用の場合  
経営状況に応じて年1.0%～1.2%
- 上記以外の場合  
経営状況に応じて年0.8%～1.0%

}  国の補助により  
**年0.2%**

**【取扱期間】** 令和3年4月1日～令和6年3月31日

### 4. コロナ克服サポート貸付

制 度 名	中小企業総合振興資金 経済環境変化対応資金 コロナ克服サポート貸付
融 資 対 象 者	北海道信用保証協会の「コロナ克服サポート保証(※)」の対象となる中小企業者等 (※)「コロナ克服サポート保証」は、コロナ克服に向けた取組に係る事業資金が対象となります。  <コロナ克服に向けた取組例> 飛沫感染予防対策、店舗レイアウトの変更、テレワークの導入、サテライトオフィスの導入、ワーケーションの導入、事業再構築、新商品・サービスの開発・販路拡大、営業スタイルの転換、BCPの見直しなど
資 金 使 途	事業資金
融 資 金 額	1億円以内
融 資 期 間	10年以内（うち据置1年以内）
融 資 利 率	《固定金利》 5年以内 年1.0% 10年以内 年1.2% 《変動金利》 年1.0% (融資期間が3年を超えるものに限る)
担保及び償還方法	取扱金融機関の定めるところによります
信 用 保 証	すべて信用保証協会の保証付き（コロナ克服サポート保証）とします
保 証 料 率	経営状況に応じ年0.40%～1.71% ※通常の保証料率から10%割引された料率となります。
取 扱 期 間	令和4年4月1日～令和6年3月31日

中小企業総合振興資金（4/5）  
（新型コロナウイルス・コストアップに対応する中小企業者向け融資）

5. 経営環境変化対応貸付・経営環境変化対応貸付【原料等高騰】

資金名	経営環境変化対応貸付	
	原料等高騰	
融資対象	1.最近3か月の売上高（生産高）が前年同期に比べ5%以上減少している方 2.最近3か月の売上高（生産高）が前年同期に比べ減少しており、かつ、前年度の売上高（生産高）が前々年度の売上高（生産高）に比べ減少している方 3.前年度における純利益額又は売上高経常利益率が前々年度に比べ減少している方 4.最近3か月の売上高経常利益率が前年同期に比べ減少している方	1.原料等価格の高騰の影響により、最近3か月の売上高に対する「売上原価」又は「販売費及び一般管理費」の割合（売上原価率等）が前年同期に比べ増加している方 2.原料等価格の高騰の影響により、原則として最近1か月の売上原価率等が前年同期に比べ増加し、かつ、その後2か月を含む3か月の売上原価率等が前年同期に比べ増加する見込みの方 3.原料等価格の高騰の影響を受けており、省エネルギーに資する施設や新エネルギー等を使用する施設又は環境への負荷を軽減する施設等を導入する方
資金用途	事業資金	1・2：運転資金のみ 3：設備資金のみ
融資金額	5,000万円以内	1億円以内
融資期間	10年以内（うち据置期間2年以内）	
融資利率	【固定金利】年1.1%～年1.7% （融資期間によって異なります） 【変動金利】年1.1% （融資期間が3年を超える場合選択可）	【固定金利】年1.0%～年1.2% （融資期間によって異なります） 【変動金利】年1.0% （融資期間が3年を超える場合選択可）

※次項で「申込方法」、「取扱金融機関」について掲載しております。



# 中小企業総合振興資金（5/5）

## （新型コロナウイルス・コストアップに対応する中小企業者向け融資）

### 申込方法

借入を希望する場合は、所定の「融資あっせん申込書」に必要事項を記載し、次の書類を添えて商工会議所・商工会へお申込みください。

なお、認定企業（従来型、伴走支援型）、企業体質強化貸付（資本性ローン協調）、コロナ克服サポート貸付を利用される方については、金融機関への「直接申込み」が可能となっています。

#### 【お申込みに必要な添付書類】

- 決算書2期分  
※2期分の決算又は申告が終了していない方は、提出可能な決算書等及び直近の試算表
- 商業登記簿謄本又は登記事項証明書（法人の場合）
- 見積書又は契約書（必要に応じ提出）
- 「特定中小企業者」であることの市町村長の認定を受けた場合は認定書
- 道が定める調書

（注）金融機関及び保証協会において、融資（保証）審査上、別途書類が必要となる場合があります。

- ※ 中小企業等協同組合及び同構成員企業は、北海道中小企業団体中央会への申込みも可。
- ※（公財）北海道中小企業総合支援センターの支援制度を利用する方は、同センターへの申込みも可。

### 取扱金融機関

北海道銀行、北洋銀行、信用金庫、信用組合、道外本店銀行・農林中央金庫・商工組合中央金庫の道内支店、JA北海道信連

#### 【お問合せ先】

北海道経済部地域経済局中小企業課

TEL：011-204-5346

または各（総合）振興局の相談窓口まで（P25ご参照）

#### 【借入金の返済が負担となっている事業者のみなさまへ】

道では、このたび借入金の返済が負担となっている事業者のみなさまに役立つ情報を掲載したWebページを開設しました。

Webページでは、返済条件の変更ができることなどを紹介しております。是非ご覧ください。

⇒詳しくはこちら(北海道ホームページ)

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/ck/kny/yuushi/119439.html>

# 専門家派遣のご案内 (中小・小規模企業経営安定化対策専門家派遣事業)

物価高騰等により、経営に影響を受けている道内中小・小規模事業者の皆様を対象に経営課題に応じた専門家を無料で派遣し、オーダーメイド型の助言・指導を実施します。

## 制度概要



お困りでは  
ありませんか？

- 事業再構築を検討している
- 販路を拡大したい
- 補助金の申請を支援してほしい
- 資金繰りや融資の返済について相談したい
- 事業承継を考えているがどうしたらいいかわからない

など



専門家が  
お伺いします！

中小企業診断士を中心に、公認会計士や社会保険労務士など、ご相談内容に応じて選定された専門家がお伺いします。

- 中小企業診断士とは  
中小企業の経営課題に対応するための診断・助言を行う専門家で、国家資格を持っています。



無料で  
助言・指導

専門家が無料で助言・指導を行います。  
ご要望があれば、オンラインでの対応も可能です。

それぞれの課題に応じたアドバイスで、物価高騰等の影響を受けている事業者の皆さまに寄り添い、事業活動の維持・継続を支援します。

## 受付期間

令和6年(2024年)2月上旬(予定)まで

## お問合せ先

経営安定化対策支援センター  
(一般社団法人中小企業診断協会北海道)

【WEB】 <https://www.shindan-hkd.org/corona/>

【TEL】 0800-800-2551 (フリーダイヤル)  
受付は平日9:00~17:00、専門家常駐

【FAX】 011-231-1388



# 特別高圧電力利用事業者緊急支援金

北海道では、電気料金高騰の影響を受けている事業者のうち、道内で特別高圧電力を利用する中小企業者の電気料金の一部を支援します。  
※特別高圧電力とは、大型商業施設や工業団地などの施設において受給電圧が7,000ボルト以上の電力のことをいいます。

## 対象事業者

道内で特別高圧電力を利用する中小企業者（以下のいずれかを満たすこと）

- ・特別高圧電力の受電契約を締結していること
- ・特別高圧電力を受電している施設内において電気を使用していること（大型商業施設のテナント等）

## 支援期間・支援金額

令和5年(2023年)1月利用分から令和5年(2023年)8月利用分まで

:1kWhあたり3.5円

令和5年(2023年)9月利用分

:1kWhあたり1.8円

## 申請受付期間・申請方法

郵送申請の場合

2023年6月30日（金）～

12月22日（金）※消印有効

申請書類の送付先（住所の記載不要）

〒060-8407

北海道特別高圧電力利用事業者

緊急支援金事務局

web申請の場合

2023年7月14日（金）9:00～

12月22日（金）23:59

専用ホームページ

以下URLまたは、

二次元バーコードより

アクセスしてください。

申請時より過去分は、まとめて申請可能です。

提出書類、申請の手引きは専用ホームページをご確認ください。

なお、提出書類を審査のうえ、支援金を交付します。

## 【お問合せ先】

北海道特別高圧電力利用事業者緊急支援金事務局

コールセンター 011-795-8154

【受付時間 平日9:30～17:30】

専用ホームページ <https://tokubetsu-kouatsu-hkd2023.jp>



# LPガス利用者緊急支援事業

LPガス利用者の負担軽減を図るため、LPガス販売事業者が実施する料金値引き（1契約あたり税別2,000円上限）を支援します。

※支援にあたっては、販売事業者からの申請が必要です。

## 制度概要

### 1 支援対象者

LPガス又はコミュニティーガスを生活の用途等に使用している道内の消費者

※国又は地方公共団体により管理等が行われている施設は対象外です

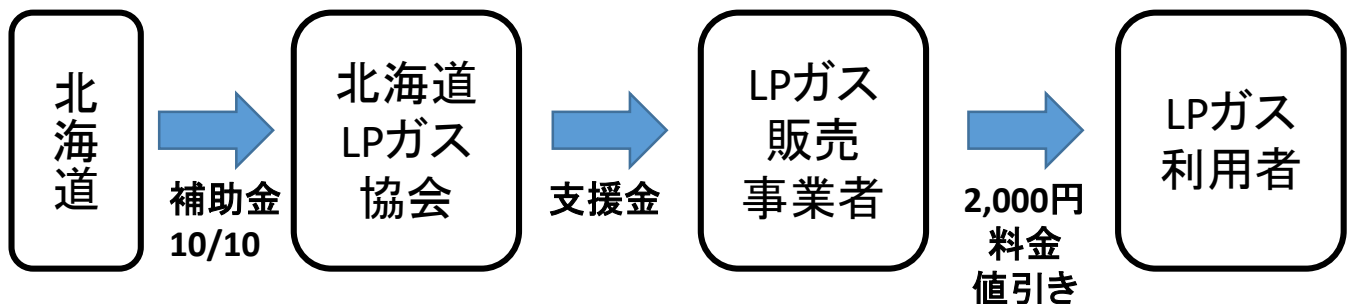
### 2 支援額

7月1日から9月30日までに検針された利用料金から1契約につき2,000円（税別）を上限として値引きを実施します

※実施時期は、LPガス販売事業者が決定しますので、値引きの実施時期についてはご契約の販売事業者にお問い合わせください

### 3 支援方法

北海道LPガス協会、各LPガス販売事業者を通じて値引きが実施されます



### 4 申請期間

6月26日（月）～8月31日（土） ※LPガス販売事業者が対象専用HP <https://hokkaidolpg-hojokin.jp/>

#### 【お問合せ先】

北海道LPガス補助金センター

TEL：0120-576-440

（9：00～17：00 土日・祝日、夏期休業期間（8月11日～15日）を除く）

# 水産加工関連事業者向け伴走型集中支援事業

不漁による影響に加え、物価高騰等より、厳しい経営環境にある水産加工関連事業者の経営基盤の強化や生産性向上を図るため、専門家派遣等による伴走型集中支援を実施しています。

## 制度概要

### ◆事業内容

#### 【概要】

衛生管理、商品開発や販路開拓、生産性の向上など、経営改善に取り組む水産加工関連事業者の皆様に対して、専門家を派遣し、集中的かつ継続的な指導助言を行います。

#### 【対象者】

次の各要件に合致する道内の中小企業者が対象となります。

- 道内に主たる事業所を有する中小企業支援法第2条に該当する中小企業者等であること
- 水産品の加工、保管、輸送、販売および水産品の加工、保管、輸送、販売に要する機械設備、容器等の製造、販売（取付工事等を含む）等を行う水産加工関連事業者であること。

#### 【募集期間】

令和6年1月31日（水）まで

※募集期間を変更する場合があります。また、応募が定数に達した場合は募集を終了します。

#### 【申込方法】

「経営健康診断問診票」を下記のお申し込み先に提出してください。

様式はこちらのページからダウンロードをお願いします。

[https://www.hsc.or.jp/consul/suisanshien\\_r5/](https://www.hsc.or.jp/consul/suisanshien_r5/)（北海道中小企業総合支援センターHP）

#### 【専門家】

申込者の相談内容を踏まえて、専門家を選定し派遣します。

#### 【費用負担】

派遣費用は無料です。

### ◆お申し込み・問い合わせ先

〒060-0001

札幌市中央区北1条西2丁目経済センタービル9階

公益財団法人 北海道中小企業総合支援センター

担当：経営支援部 佐々木(貢)、小山、桑原

TEL 011-232-2402(直通)

FAX 011-232-2011

URL <https://www.hsc.or.jp>

E-mail [suisan@hsc.or.jp](mailto:suisan@hsc.or.jp)

#### 【お問合せ先】

北海道経済部地域経済局中小企業課経営支援係

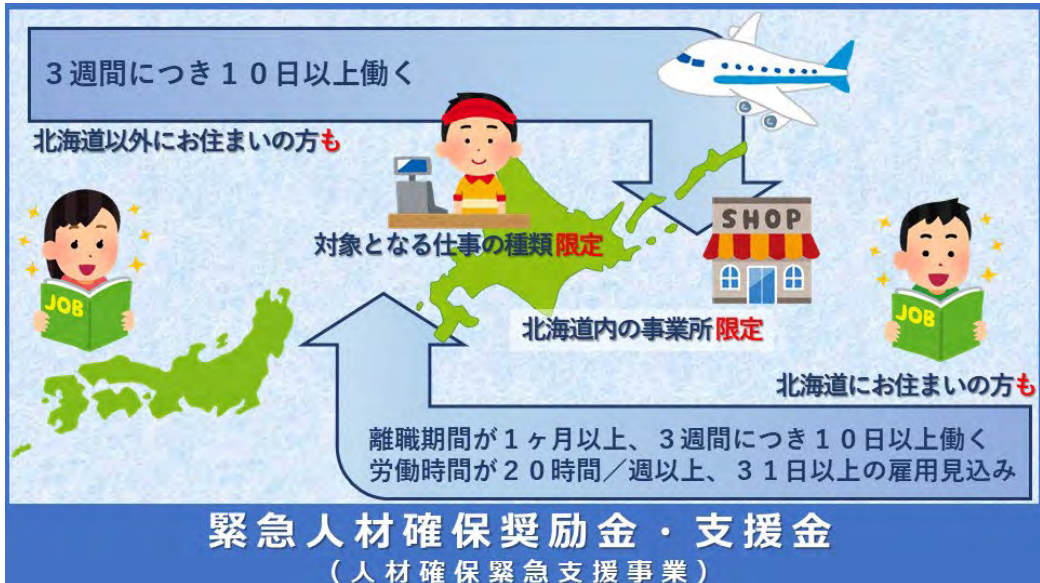
TEL：011-204-5331

# 人材確保緊急支援事業

道内や道外に在住する方が、人手不足が深刻な業種の道内事業所で一定期間以上就労した場合、就労者及び道内事業所に支援金等を支給します。

制度の内容等

※7月21日(金)募集開始予定



支給額(1回限り)

道内事業所

支援金 10万円

※要件を満たす方の雇入れ数に制限はありませんが、事業所への支援金支給は1回限りです。

道内や道外に在住する方 奨励金 10万円(+ 移動費 実費上限 10万円)

※奨励金、支援金は予算の範囲で支給いたしますので、申請が予算の範囲を超えた場合は申請いただいても奨励金、支援金は支給いたしません。

対象業種

(第4回改訂 厚生労働省編職業分類による)

09建築・土木技術者等、13保健師、助産師等、14医療技術者、16社会福祉の専門的職業、19教育の職業、34営業の職業、36介護サービスの職業、37保健医療サービス、38生活衛生サービス、39飲食物調理の職業、40接客・給仕の職業、42 その他のサービス、45その他の保安職業、46農業の職業、52金属材料製造等、54製品製造・加工処理、60機械整備・修理の職業、66自動車運転の職業、70建設躯体工事の職業、71建設の職業、72電気工事の職業、73土木の職業、76清掃の職業

対象者

事業所	○道内に本店若しくは主たる事務所又は事業所を有する法人又は個人で、あって、条件を満たす道内や道外に在住する者を一定期間以上雇用
個人	○令和5年6月1日から令和5年9月30日までに一定期間以上就労する次の条件を満たす道内や道外に在住する方(※5月31日以前の雇用契約は対象外) ・道外に在住する方: 3週間につき10日以上勤務 ・道内に在住する方: 離職期間が1ヶ月以上あり、労働時間が週20時間以上、31日以上の雇用見込みがあり、3週間につき10日以上勤務

【お問合せ先】 経済部 労働政策局 産業人材課 人材確保支援係 TEL 011-251-3896

# 省エネルギー促進総合支援事業

省エネに向けた取組を促進するため、セミナー等による普及啓発や先駆的な省エネルギー設備の導入を前提とした調査設計・計画策定及び設備導入に対し支援を行います。

## 制度概要

### 【省エネセミナー】

省エネ意識や行動の定着、省エネ設備の普及などを図るため、札幌など道内6カ所程度で、事業者や道民を対象にしたセミナーを開催し、エネルギー価格高騰対策として、省エネによる事業コスト削減のノウハウや、暖房シーズンに向けた家計負担低減のコツを紹介します。

(開催時期) 令和5年(2023年)9月下旬～12月

(開催地域) 札幌など道内6カ所程度

詳細が決まりましたら、ゼロカーボン産業課のホームページ等でお知らせいたします。

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/zcg/index.html>

### 【省エネ設備導入促進(補助金)】

	設備導入計画等作成支援事業	設備導入支援事業
対象者	① 道内に事務所又は事業所を有する法人(営利を目的とせず、不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与することを目的として、継続的かつ自発的に行われる活動を行う法人その他の団体を含む。) ② ①に掲げる者を含む複数事業者による共同体(以下「コンソーシアム」という。)	
対象事業	省エネルギーの取組に対する高い波及効果が期待される省エネ設備の導入を前提とした設備の設計、当該設計に要する調査及び導入可能性調査を行う事業	省エネルギーの取組に対する高い波及効果が期待される省エネ設備を導入する事業
補助率	1 / 2 以内	
上限額	100万円	① 500万円 ② 1,000万円
URL	<a href="https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/zcg/107863.html">https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/zcg/107863.html</a>	<a href="https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/zcg/107905.html">https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/zcg/107905.html</a>
公募時期	令和5年(2023年)7月下旬 2次公募開始予定	
備考	・申請には事業計画書の提出が必要となります。 ・対象者や対象事業にはそれぞれ要件があります。 ・事業計画書のダウンロード、交付要綱及び公募案内など詳細は上記URLをご参照ください。	

#### 【お問合せ先】

北海道経済部ゼロカーボン推進局ゼロカーボン産業課ゼロカーボン産業係

TEL: 011-206-7217

# 宿泊業環境整備緊急対策事業

中小宿泊事業者の方々の負担軽減を図るため、省エネルギー化及び省力化に資する設備導入を支援します。

## 制度概要

### 【対象事業者】

旅館業法の許可を受け、道内に宿泊施設を有する中小宿泊事業者(ホテル・旅館、簡易宿所)

### 【対象となる設備・要件】

	省エネ設備の導入	省力化設備の導入
対象設備	<ul style="list-style-type: none"><li>・テレビ ・エアコン ・LED照明</li><li>・客室用冷蔵庫 ・業務用冷蔵</li><li>・ストーブ(灯油/ガス/電気)</li><li>・高性能ボイラー 等</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自動チェックイン機 ・翻訳機器</li><li>・キャッシュレス決済システム</li><li>・モバイルオーダーシステム</li><li>・除雪機 等</li></ul>
対象要件	<ul style="list-style-type: none"><li>・既存の設備の入替となるもの</li><li>・直接エネルギーを消費して使用するもの</li><li>・更新後の年間エネルギー消費量が、更新前と比較して10%以上低減するもの</li></ul>	省力化設備導入により経費の削減等の経営改善が見込まれること

・申請した施設で使用するものに限り、消耗品は対象外です。  
・詳しい設備一覧は、ホームページをご覧ください、事務局までお問い合わせください。

### 【補助率・上限額】

補助率	3/4以内
上限額	500万円

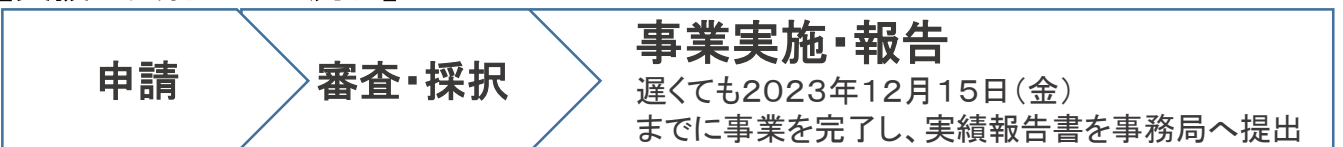
### 【申請受付期間】

令和5年 7/10(月) ~ 8/4(金)  
※申請状況により、第2回募集をする場合があります。

### 【留意点】

・1施設1申請 ※1申請内であれば、省エネ・省力化あわせての申請も可能です。

### 【支援金交付までの流れ】



・支援金は、実績報告をご提出いただき、内容を審査し承認後お支払いします。

### 【申請方法】電子申請

申請HP <https://shukuhaku-hkd2023.jp>

※インターネット環境が無い等で電子申請ができない場合は、事務局へお問い合わせください。



### 【お問合せ先】

北海道宿泊業環境整備緊急対策事業支援金事務局  
TEL: 011-803-0123



# 中小・小規模企業新事業展開・販売促進支援事業費補助金

エネルギー価格・物価高騰等による経済環境の変化への対応や賃上げ環境の整備に向け、変革にチャレンジする道内の中小企業者等が行う、新分野展開や新商品開発、各種販売促進などの新たな取組や、付加価値の高い商品への転換や原材料コスト抑制に繋がる取組等に係る経費の一部を補助します。

## 対象者

中小企業者※1（フリーランス※2含む）及びNPO法人※3

※1 中小企業基本法第2条に規定する中小・小規模企業者で、道内に本店（個人事業主は住所）を有するもの

※2 自身の収入を証明できるもの

※3 道内に主たる事務所を有するもの

## 売上要件

2022年1月以降の連続する6か月のうち、任意の3か月の合計売上高（又は付加価値額）が、2019年から2021年の同3か月の合計売上高（又は付加価値額）と比較して10%（付加価値額の場合は15%）以上減少していること。（「賃上げに向けた取組の計画書」を提出した場合、売上要件を「合計売上高5%（付加価値の場合は10%）以上減少」に緩和。

## 対象となる取組

【経営改善枠】新分野展開、業種転換、新商品開発などの取組、原材料コスト抑制等の取組

【販売促進枠】販路開拓や販促活動等の取組

## 申請区分・補助額・補助率等

下記申請区分のうちいずれかを選択し申請

区 分	経営改善枠	販売促進枠
取 組 内 容	<ul style="list-style-type: none"><li>・新分野展開、事業転換、業種転換</li><li>・新商品の開発または生産</li><li>・新役務の開発または生産</li><li>・商品の新たな生産または販売の方式</li><li>・役務の新たな提供方式の導入</li><li>・原材料コスト抑制等の取組</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・販路開拓等の取組</li><li>・販促活動の取組</li></ul>
補 助 金 額	50万円～100万円 ※デジタル技術を活用した原材料コスト抑制等に資する取組を含む場合、上限300万円	上限30万円
補 助 率	3/4以内	3/4以内

## 公募スケジュール

### 【公募期間】

2023年7月3日（月）～2023年8月4日（金）

（郵送申請または電子申請）

### 【お問合せ先】

新事業展開・販売促進支援補助金事務局

TEL 011-350-5932 9:30～17:30（平日のみ）

北海道 経済部 地域経済局 中小企業課

TEL 011-204-5331 8:45～17:30（平日のみ）

URL <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/csk/shinjigyotenkai-r5.html>

# 北海道どさんこプラザ マーケティング支援制度

「北海道どさんこプラザ」における販路拡大支援事業の一環として、マーケティングサポート催事制度、テスト販売制度、マーケティングアドバイザー制度を実施します。

## 制度概要

### 1 マーケティングサポート催事制度

- 内容：どさんこプラザの催事スペースにて、1週間（原則）対面販売が可能。対面販売、観光PRなどで消費者の反応を直接確かめることが可能。
- 実施店舗：有楽町店、羽田空港店、札幌店、あべのハルカス店
- 販売条件：手数料（売上の15%、ただし上限は札幌店は1箇所3万円/日、有楽町店・羽田空港店・あべのハルカス店は1万5千円/日）

### 2 テスト販売制度

- 内容：売れる商品づくりを支援するため、道内企業が製造・加工した新商品を店舗にて3～6ヶ月間試験的に販売が可能。販売終了後には、店舗から商品の評判や評価など今後の商品開発・改良に役立つアドバイスをフィードバック。
- 実施店舗：有楽町店、羽田空港店、札幌店、あべのハルカス店、名古屋店、ミレニアウォーク店（シンガポール）、バンコク店（タイ）
- 販売条件：委託販売、手数料（国内：売上の18%、海外：国内希望小売価格の30%）、PL保険等の加入など

### 3 マーケティングアドバイザー制度

- 内容：道内企業の商品開発・販路拡大等に関する悩みについて、面談又は文書、電話等で食の専門家に無料で相談が可能。  
※相談者の相談場所までの旅費については企業負担。
- 実施場所：東京、札幌、名古屋

詳しくは下記ホームページを参照

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sss/marke/dosankogaiyore.html>

#### 【お問合せ先】

北海道経済部食関連産業局食産業振興課マーケティング係  
TEL：011-204-5766

# 中国の新たな市場をターゲットとした道産品販路拡大事業

北海道の認知度が高く14億人の市場規模がある中国市場をターゲットに、道産品の定着と食を中心とした輸出額の増加に向け、中国市場の現状や輸出に向けての知識習得、リスクマネジメント力などを内容とした講座、実店舗やEコマースでのテスト販売を行い、道産品の販路拡大を図ります。

## 制度概要

### 1 中国市場向け輸出講座の開催

中国市場の現状と展望、中国輸出に関する基礎知識、中国の消費動向、貿易保険や規制などを内容とした講座を開催します。7月中旬より受講者募集開始の予定です。

### 2 現地展示会への出展

中国で最も歴史があり、政府公認の博覧会である「第109回全国糖酒商品交易会(10月12日～14日予定)」に北海道ブースを出展する予定です。

上記の「1中国市場向け輸出講座」の参加企業様は、条件が合えば、頒布するカタログへの商品掲載、輸出会社との商談フォローアップ、会場での商品PRへのご参加を案内いたしますので、講座への参加と併せてご検討ください。

※取扱条件がありますので、希望される商品の全ての出展をお約束するものではありません。

### 3 現地小売店舗でのテスト販売・現地飲食店でのメニュー試行

中国の百貨店等で道産品フェア(テスト販売)を実施するほか、飲食店で道産食材を使用したメニュー試行を行う予定です。

上記の「1中国市場向け輸出講座」の参加企業様は、条件が合えば、テスト販売にご参加いただけますので、講座への参加と併せてご検討ください。

※取扱条件がありますので、希望される商品の全ての出品をお約束するものではありません。

### 4 中国EC市場でのテスト販売

中国ECサイトを活用して、道産品テスト販売及び掲載商品の道産品体験販売イベントの実施、中国SNSでの北海道及び道産品に関する情報発信を行います。

※取扱条件がありますので、希望される商品の全てを販売できるわけではありません。

#### 【お問合せ先】

北海道経済部経済企画局国際経済課経済交流第一係  
TEL：011-204-5342

# 米国市場をターゲットにした道産食品輸出促進事業

米国市場をターゲットに、輸出に必要なノウハウを取得する研修会、その研修成果を活かす実学の間として、現地展示会を活用した道産品PRや商談等を実施し道産食品の輸出拡大を図ります。

## 制度概要

### 1 米国市場参入実践研修会の開催

米国への道産食品の輸出及び現地小売店や飲食店での販路拡大に関心のある道内企業を対象として、米国市場の現状や市場ニーズ、米国への輸出手続きや輸出規制、貿易保険や知的財産などリスクマネジメント等を内容とした研修会を開催します。8月中旬より受講者募集開始の予定です。

### 2 現地展示会への出展

米国への販路拡大に向けて、現地で開催される展示会（Japanese Food Expo in NY&LAを予定）において、「北海道ブース」を設置し、道産食品のPR及びバイヤーとの商談等を実施します。8月下旬より参加者募集開始の予定です。  
※取扱条件がありますので、希望される商品の全ての出展をお約束するものではありません。

### 3 オンライン商談の実施

上記研修会や展示会に参加いただいた企業を中心に、バイヤーとのオンライン商談を実施予定です。  
事前のサンプル送付や企業・商品の説明動画等の活用支援など、成約に向けた商談サポートも実施予定ですので、研修会や展示会への参加と併せてご検討ください。  
※取扱条件がありますので、希望される商品の全ての商談実施をお約束するものではありません。

#### 【お問合せ先】

北海道経済部経済企画局国際経済課経済交流第一係  
TEL：011-204-5342

# ものづくり産業におけるグリーン・デジタル推進事業

道内ものづくり産業の生産性向上及び競争力強化のため、脱炭素・DXを推進するセミナー等を実施します。

## 事業概要

### 【ものづくり産業の脱炭素・DX推進セミナー・相談会等の開催】

- ・デジタル化を進めたいけど何から始めれば良いかわからない・・・
- ・取引先から二酸化炭素排出量の算定を求められるかも・・・

など、ものづくり企業の皆様の課題に対し、先進事例の紹介や専門家による相談対応を実施します。

○セミナー・相談会 日時：7月27日(木)セミナー13:30～15:30  
相談会 15:30～16:30

場所：TKP札幌駅カンファレンスセンター  
札幌市北区北7条西2-9ベルグユオオフィス3階  
※会場またはオンラインでの参加が可能です。  
(YouTube Live)

URL:[https://www.noastec.jp/news/seminar-event/post\\_1600.html](https://www.noastec.jp/news/seminar-event/post_1600.html)

○専門家派遣 随時開催  
1社3回程度

申込先：ノーステック財団ビジネスソリューション支援部  
担当：安田 町田 堀内 黒澤 電話011-792-6119

#### 【お問合せ先】

北海道経済部産業振興局産業振興課ものづくり産業係  
TEL：011-204-5323

# 賃上げ促進税制

賃上げに取り組む経営者の皆様は、前年度より給与等を増加させた場合に、その増加額の一部を法人税（個人事業主は所得税）から税額控除できる場合があります。

## 賃上げ促進税制

【大企業】雇用者全体の給与等支給額の増加額の**最大30%**を税額控除\*

【中小企業】雇用者全体の給与等支給額の増加額の**最大40%**を税額控除\*

\*税額控除上限：法人税額又は所得税額の20%

### 〈大企業向け（資本金1億円超の企業など）〉

適用対象：青色申告書を提出する全企業

適用期間：令和4年4月1日から令和6年3月31日までの間に開始する各事業年度  
（個人事業主は、令和5年から令和6年までの各年が対象）

#### 必須要件

継続雇用者の給与等支給額が  
前年度比で4%以上増加  
⇒ **25%税額控除\***

OR

継続雇用者の給与等支給額が  
前年度比で3%以上増加  
⇒ **15%税額控除\***

※ 資本金10億円以上かつ従業員数1,000人以上の企業については、これに加え、「従業員への還元や取引先への配慮の方針を公表していること」が必要

#### 追加要件

教育訓練費が  
前年度比で20%以上増加  
⇒ **+5%税額控除\***

大企業向けの  
詳細情報・  
お問い合わせ先は  
こちら



《大企業向け賃上げ促進税制ホームページ》

<https://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/syotokukakudaisokushin/syotokukakudai.html>

### 〈中小企業向け（資本金1億円以下の企業など）〉

適用対象：青色申告書を提出する中小企業等

適用期間：令和4年4月1日から令和6年3月31日までの間に開始する各事業年度  
（個人事業主は、令和5年から令和6年までの各年が対象）

#### 必須要件

雇用者全体の給与等支給額が  
前年度比で2.5%以上増加  
⇒ **30%税額控除\***

OR

雇用者全体の給与等支給額が  
前年度比で1.5%以上増加  
⇒ **15%税額控除\***

#### 追加要件

教育訓練費が  
前年度比で10%以上増加  
⇒ **+10%税額控除\***

中小企業向けの  
詳細情報・  
お問い合わせ先は  
こちら



《中小企業向け賃上げ促進税制ホームページ》

<https://www.chusho.meti.go.jp/zaimu/zeisei/syotokukakudai.html>

## 第2章 生活者支援

# 北海道 お米・牛乳 子育て応援事業 (物価高騰等対策特別支援事業)

食料品などの物価高騰の影響を受けている子育て世帯の負担軽減と道産品の消費拡大を図るため、平成17年(2005年)年4月2日から令和5年(2023年)9月30日までに生まれた子ども(対象児童)がいる道内の世帯に商品券等を支給します。

## 制度概要

### 1 対象児童

・平成17(2005)年4月2日から令和5(2023)年9月30日までに生まれた子ども

### 2 支給対象及び申請手続き者 ※申請が必要です

	支給対象	申請手続き者
1	道内で対象児童と同居している世帯	対象児童と同居する保護者
2	道内で対象児童だけで構成する世帯	対象児童又は道内在住の保護者
3	保護者は道内に在住し、道外で対象児童だけで構成する世帯	道内在住の保護者

※「世帯」とは、住居及び生計を共にする方の集まり、又は、独立して住居を維持・若しくは独立して生計を営む単身者  
※「保護者」とは、父母、養父母、未成年後見人、施設の長、里親等、対象児童を現に監護する方

### 3 支給品

・支給対象の世帯ごとに、次のいずれか1つを選択 ※1世帯あたり1回限り

区分	支給品
商品券	「おこめギフト券(発行者:全農)」又は「おこめ券(発行者:全米販)」 6,160円相当分(440円×14枚) 「牛乳贈答券(発行者:ホクレン)」 2,000円相当分(200円×10枚) <8,160円相当分>
電子クーポン	北海道産の「米」と「牛乳」を購入できる電子クーポン <8,160円相当分> ※利用期限:令和6年1月21日(日)まで
北海道米セット (①②のいずれか)	①「精米セット」 精米ゆめぴりか(5kg)2袋・精米ななつぼし(5kg)1袋 <8,160円相当分(送料含む)> ②「無洗米セット」 無洗米ゆめぴりか(5kg)2袋・無洗米ななつぼし(5kg)1袋 <8,160円相当分(送料含む)>

### 4 申請期間

・令和5年5月10日(水)から9月30日(土)まで

※郵送の場合は当日消印有効

※令和5年8月1日(火)から9月30日(土)までに生まれた新生児を対象に申請する場合の申請期限は令和5年10月31日(火)まで

### 5 本人確認書類

・申請書に記載された全員分の「氏名」、「生年月日」、「現住所」の全てが確認できる書類※の写し  
※住民票、健康保険証、マイナンバーカード(表面のみ)、運転免許証(表裏)、母子健康手帳等

### 6 申請方法

・電子申請 または 郵送申請

※送料がかからず、問い合わせや書類の追加提出等がスムーズな電子申請をおすすめします。

【お問合せ先】

・申請者用 コールセンター

電話:011-350-7371 [9:00~17:00(年末年始を除く)] <https://hkd2023kosodate-ouen.jp>

専用ホームページQRコード





# 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金等

食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し、「子育て世帯生活支援特別給付金」を支給します。

## 制度概要

### (1) 支給対象者

- ①低所得のひとり親世帯(児童扶養手当受給者等)
- ②その他低所得の子育て世帯  
(令和5年度分の住民税均等割が非課税の子育て世帯)

### (2) 支給額

児童一人当たり 一律5万円

### (3) 給付について

#### ①低所得のひとり親世帯

- 令和5年3月分の児童扶養手当を受給している方については、申請不要で受け取ることができます。  
(児童扶養手当の受給口座に振り込み)
- 直近で収入が減少した方、公的年金等を受給しているため令和5年3月分の児童扶養手当の支給を受けていない方は、申請が必要です。

#### ②その他低所得の子育て世帯

- 「令和4年度低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯分)」の支給対象者であった方は、申請不要で受け取ることができます。
- 対象児童(令和5年3月31日時点で18歳未満の子(障がいをお持ちのお子様については20歳未満)の養育者であって、食費等の物価高騰の影響を受けて令和5年1月以降家計が急変し、収入見込額が令和5年度分住民税均等割非課税世帯と同じ水準となっている方は、申請が必要です。

#### 【お問合せ先】

お住いの市町村へお問い合わせください。  
札幌市にお住いの方は、「令和5年度札幌市子育て給付金コールセンター」(TEL: 050-5443-6656) にお問い合わせください。

# 北海道低所得世帯臨時特別給付金支給事業

物価高騰による負担増を踏まえ、低所得世帯の方々の暮らしを支援するため、令和5年度に市町村が行う住民税非課税世帯への給付(3万円を目安とするもの)の対象とならない、「均等割のみ課税されている世帯」に給付金を支給します。

## 制度概要

### 1 給付対象となる世帯

令和5年6月1日時点で、道内市町村の住民基本台帳に記録されている方であって、次の(1)又は(2)に該当する世帯

- (1) 「均等割のみ課税」の世帯（世帯全員）
- (2) 「均等割のみ課税」の方と「非課税」の方で構成される世帯

### 2 給付金の支給額

該当世帯の世帯主に1万2千円を給付します（1回限り）。

### 3 給付金を受けるための手続

**A** 令和5年1月1日以前から  
現住所にお住まいの世帯

道から給付のご案内と確認事項が記載された「**確認書**」が届きますので、内容をご確認の上、同封の返信用封筒で返信してください。

**B** 令和5年1月2日以降に  
現住所へ転居等した世帯

道のホームページ等に掲載する「**申請書**」に必要事項を記入し、道に郵送等で申請してください。

### 4 手続の開始時期等

順次情報を更新しますので、詳しくは道のホームページをご覧ください。

北海道低所得世帯臨時特別給付金




<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/feg/153405.html>

#### 【お問合せ先】

北海道保健福祉部福祉局地域福祉課地域福祉推進係  
TEL：011-206-7962

# 第3章 相談窓口

経営・金融、雇用関連など各種相談窓口

区分	相談窓口	窓口時間	連絡先
<p><b>経営・金融 特別相談室</b></p> <p>以下二次元コード からもご確認いた だけます</p> 	北海道経済部中小企業課	平日：8:45～17:30	電話：011-204-5346
	空知総合振興局商工労働観光課		電話：0126-20-0061
	石狩振興局商工労働観光課		電話：011-204-5827
	後志総合振興局商工労働観光課		電話：0136-23-1362
	後志総合振興局小樽商工労働事務所		電話：0134-22-5525
	胆振総合振興局商工労働観光課		電話：0143-24-9589
	日高振興局商工労働観光課		電話：0146-22-9281
	渡島総合振興局商工労働観光課		電話：0138-47-9459
	檜山振興局商工労働観光課		電話：0139-52-6641
	上川総合振興局商工労働観光課		電話：0166-46-5940
	留萌振興局商工労働観光課		電話：0164-42-8440
	宗谷総合振興局商工労働観光課		電話：0162-33-2925
	オホーツク総合振興局商工労働観光課		電話：0152-41-0636
	十勝総合振興局商工労働観光課		電話：0155-27-8537
釧路総合振興局商工労働観光課	電話：0154-43-9182		
根室振興局商工労働観光課	電話：0153-24-5619		
資金繰りの相談	北海道信用保証協会	平日：9:00～17:00 休日：〃	電話：0120-279-540
経営面の相談	(公財)北海道中小企業総合支援センター	平日：9:00～17:30 休日：9:00～12:00 13:00～17:00	電話：011-232-2001
	北海道よろず支援拠点	電話：011-232-2407	
雇用関連の相談	労働相談ホットライン	平日：17:00～20:00 土曜：13:00～16:00	電話：0120-81-6105
海外との取引等 についての各種 相談	北海道国際ビジネスサポートデスク (ジェットロ北海道内)	平日：9:00～17:00	電話：011-261-7434

※国・関係団体の経営相談窓口については下記二次元コードをご参照ください

【平日のご相談】

【休日のご相談】



# 働き方改革関連特別相談窓口

中小企業、小規模事業者のみなさん！  
働き方改革関連法への対応はお済みですか？  
道では、各振興局等に窓口を設置しています。  
お気軽にご相談ください！



うちの会社って働き方改革関連法に  
きちんと対応できているのか  
不安です。

働き方改革をしながら  
生産性を向上させたいのですが、  
何をすればいいのでしょうか。



テレワークを導入したいのですが、  
社内規定の作成や労務管理の  
方法が分かりません。

## ■ 相談対応者

国が設置する「北海道働き方改革推進支援センター」の専門家  
(社会保険労務士)

## ■ 相談方法

相談場所	実施方法	相談日時	申込方法
各振興局で	対面による巡回相談	各振興局が指定する日の 10:00~16:00 (各振興局商工労働観光課まで お問い合わせください)	事前予約制 (相談をご希望の 日の1週間前を目 途に最寄りの振興 局へお問い合わせ ください)
会社または 自宅等から	オンライン相談 訪問相談	北海道働き方改革推進支援 センター受付時間 9:00~17:00 (土日・祝除く)	

※なお、当日のお電話やご来庁によるご相談には道の職員が随時、対応いたします。

価格高騰等支援ガイドブック 2023.7.1 4時点版

---

発行 北海道  
編集 北海道経済部経済企画局経済企画課  
電話 (011) 204-5308  
FAX (011) 232-1104

---